

幅広い地域貢献評価

企業の設立や育成に携わりながら、社会にも貢献する県内外の経営者を県などが表彰する「第15回渋沢栄一賞」に、県内からは戸田中央医科グループ(戸田市)の中村隆俊会長(89)が選ばれた。

【森有正、鵜沢哲雄】

戸田中央医科グループ

県は授賞理由について、1962年以降、県内など1都4県に病院や介護施設などを展開し、国内最大級の医療グループに発展させたことや、地域包括ケアで求められる医療と介護を提供する「トータルヘルスケアネット

組織を国内最大級に／医療と介護ネット

ワーク」を構築したことを挙げた。また、2007年から戸田市と共同で乳がん撲滅を訴える「ピンクリボン運動」を進め、乳がん検診率の向上に寄与した年目。北海道から長靴

ともしている。

昨年、戸田市初の名誉市民に決まった中村会長は、続く吉報に「身に余る光栄」と笑顔を

を履いて出てきた。走馬灯のように思い出す」と振り返る。故郷の瀬棚町(現せたな町)や高校時代を過ごした函館市、第二の故郷という戸田市などの貧しい子どもたちを奨学金で支援するなど地域貢献活動を続けている。

東京医科大のインターン生のころ、兄弟3人で昭和の歌姫・美空ひばりさんの家庭教師を務めたのが自慢。巡業先まで付いて行って3年間、英語と数学を教えた。ひばりさんの初恋の相手は僕」とい



笑顔でインタビューに答える中村隆俊
会長＝戸田市の戸田中央総合病院で

たずらった。最後に「100歳まで生涯現役で頑張る」と元気に語った。

◇ ◇

県外受賞者は2人で、金属の表面処理などを行う日本パーカライジング(東京都)の里見菊雄名誉会長(83)と、レンコン加工品製造のマルハ物産(徳島県)の林香与子会長(69)。同賞の表彰式は2月14日にさいたま市内で行われる。